

自然とデジタルが響き合う学びのまち

～ 「探究的な学び」と「先進的な学び」を支えるICT活用～

伊那市はこれまで、豊かな自然の中での体験とICTを融合させた独自の「探究的な学び」を積み上げてきました。今、私たちが手にしている「GIGA端末」という文房具は、単なる効率化の道具ではなく、子どもたちの好奇心を解き放ち、学びの構造を根底から変える鍵となっています。皆様の知恵と情熱を集結させ、新しい教育の扉を共に開きましょう。

「探究の質」の向上へ

現在、日本の教育は大きな転換点にあります。今、求められているのは、子どもたちが自ら問いを立て、試行錯誤を繰り返す「探究の質」の向上です。不登校や孤立といった現代的な課題に対し、学びが「自分を救う手段」となり、学校が「安心して失敗できる場所」となるためには、私たちは、これまでの授業観をアップデートしていきましょう。

伊那市から新しい物語を

伊那市の伝統的な教育哲学と、最新のテクノロジーが交差するこの場所から、日本、そして世界の教育をリードする新しい物語を共に創りましょう。ビジョン2027は、単なる計画書ではありません。それは、伊那で育つすべての子どもたちが、変化の激しい未来をたくましく、しなやかに生き抜くための「希望の地図」です。

経験知を支えるデータ

データは、教師の経験知を可視化し、支援を必要とする子への確かな一歩を支えてくれます。しかし、教育の核にあるのは、いつの時代も「子どもの瞳が輝く瞬間」です。数値や効率の先にある、一人ひとりの「好奇心」が駆動する学びを、私たちは何よりも大切にしていきたいです。

自らデザインする学びへ

本ビジョン2027が目指すのは、子どもたちが自らの学びを自らデザインする「自立的な学び」の確立です。多様な考えを共有し合う教室では、教師は知識の伝達者ではなく、学びの伴走者（ファシリテーター）へと進化します。「どうしたい？」「どうだった？」という問いかけが、子どもたちの当事者意識を育み、地域とつながるリアルな体験が、社会を変える力を養います。

そもそも、伊那市の「学校教育情報化ビジョン」って？

本年度、伊那市に赴任された先生方は、「伊那市の学校教育情報化ビジョンってなんですか？」と思われるでしょう。その解説は「ICT教材DB」の中にあります。ぜひ、ご確認ください。



伊那市「学校教育情報化ビジョン 2024」

伊那に生きる ここに暮らし続ける

帰ってきたくる伊那市

暮らし続ける伊那市

子育てしたくなる伊那市



伊那市学校教育情報化ビジョン2024

探究的な学び

先進的な学び

個別最適な学び

協働的な学び

自立的な学び

子どもと共に未来を創る教員